

延長約62km、事業箇所約37箇所、築堤延長約16km等スケールは壮大



曾木の滝分水路工事状況

家屋の浸水被害約1,500戸の解消を目標に掲げ事業に着手

激特事業の規模は、全体事業費約375億円(国:約350億円、鹿児島県:約22億円、宮崎県:約3億円を含む)で九州地方では過去最大規模、採択された事業箇所の延長は約62kmで全国歴代2位の規模となりました。目標として平成18年7月と同規模の洪水に対し、河川のはん濫による家屋浸水被害を概ね5ヶ年で解消することが掲げられ、事業用地の取得に引き続き、各地区で工事が進められることになりました。

■ 川内川激甚災害対策特別緊急事業における整備の考え方

【事業の整備方針】

- 川内川の洪水氾濫による家屋浸水被害の解消を目標に、まず緊急的に効果を発揮する対策を概ね5力年で実施。
- 上中下流の治水安全度の均衡がとれた対策を実施。

薩摩川内市

土地利用に応じた治水方式で早期効果を発現。

整備メニュー

- 洪水のはん濫を防ぐための築堤及び輪中堤、陸閘
- 洪水が逆流しないための樋管新設

さつま町

川内川の水位を低下させるため推込分水路に着手。その他土地利用に応じた治水方式で早期効果を発現。

整備メニュー

- 水位を下げるための推込分水路及び掘削
- 洪水のはん濫を防ぐための築堤及び輪中堤
- 家屋嵩上げ
- 洪水が逆流しないための水門新設

伊佐市(旧大口市)

川内川の水位を低下させるため曾木の滝分水路に着手。羽月川等の地区は土地利用に応じた治水方式で早期効果を発現。

整備メニュー

- 水位を下げるための曾木の滝分水路
- 水位を下げるための河道掘削
- 洪水のはん濫を防ぐための輪中堤及び築堤

伊佐市(旧菱刈町)

洪水が逆流し、家屋・田畑に多大な被害を及ぼした川間川に堤防を新設。

整備メニュー

- 水位を下げるための河道掘削
- 洪水のはん濫を防ぐための築堤
- 洪水が逆流しないための樋管新設

湧水町

中枢機能が麻痺した湧水町の浸水被害解消のため、永山狭窄部の掘削を実施。

整備メニュー

- 水位を下げるための掘削
- 洪水が逆流しないための樋管新設

えびの市

逆流により浸水した内野、水流地区を守るため、稲荷川(宮崎県事業)に堤防を新設。流防止のため西境川合流点付近に、堤防及び水門を新設。

整備メニュー

- 洪水はん濫を防ぐための築堤
- 洪水が逆流しないための水門・新設

掘削量約200万³m

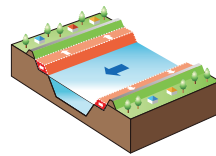
※200万³mは、一般的な25mプール(長さ25m×幅15m×深さ1.2m)で、約4,444杯分に相当します。

優先順位や費用対効果を考慮し、様々な対策を組み合わせる実施

治水安全度のバランスをとりながら抜本的な河川整備を図るには事業の予算規模や時間的制約などがあるため、与えられた条件の中で最大限の効果を発揮するよう治水対策を採用しました。

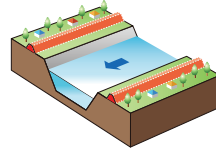
さまざまな治水対策について

各種治水対策の中でも輪中堤が比較的多く採用されたことが川内川激特事業の特徴のひとつです。



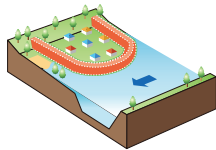
河道掘削

多くの水を流せるように、河道内を掘削することを河道掘削といいます。洪水時における水位低下を図ります。



築堤

堤防が無い、または堤防が低い箇所において、土を盛って築造することを築堤といいます。洪水時において、外水による被害を防ぎます。



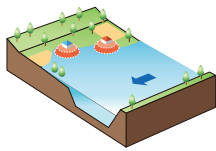
輪中堤

特定の地域を洪水から守るために集落の周囲を囲うようにつくられた堤防を輪中堤といいます。洪水時において、外水による家屋浸水被害を防ぎます。



分水路

洪水時に多くの水を流しやすくするために河川を人工的に分岐させて造られた水路を分水路といいます。洪水時において速やかに水を流すことにより河川の水位低下を図ります。



家屋嵩上げ

主に浸水家屋が少ない地域で洪水から家屋を守るために、家屋の敷地を高くすることを家屋嵩上げといいます。洪水時において、外水による家屋浸水被害を防ぎます。



菱刈地区掘削工事



南瀬地区築堤工事



大願寺地区輪中堤



推込分水路工事



荒瀬地区嵩上げ工事



久住地区橋梁工事(薩摩川内市事業)



西境川水門

橋梁

洪水で流された場合や、堤防を新たに造ったり造り替えたりするときに併せて橋の造り替えを行います。

水門

洪水により、本川の水が支川に逆流しないよう、水門を造り、浸水被害を防ぎます。

掘削	—	約200万 ³ m
築堤	—	約16km
輪中堤	—	5箇所
分水路	—	2箇所
家屋嵩上げ	—	1箇所
橋梁	—	4箇所
水門・樋門等	—	27箇所

※外水:堤防ではさまれた部分を流れている川の水のことです。堤防の無い場所や越水により、住宅地などへ流れ込んだ場合を外水はん濫といいます。
※内水:住宅地など、堤防に守られた場所(堤内地)に溜まった水のことです。